

# ミャンマー連邦共和国の文化遺産 保護のための取組みと課題

## Japan-Myanmar Collaboration on Conservation and Preservation of Cultural Heritages in Myanmar

世界有数の文化遺産を有するミャンマー連邦共和国。後世に残すべき美しく貴重な文化遺産の数々は、長い歴史の中での経年劣化、自然災害、急激な人為的開発による破壊により、存続の危機に直面している。人類共通の資産を守り次の世代に残すことは我々の責務である。最先端のデジタル技術を用いて文化財情報をデジタル化し、そのデータを文化財の検証、保存、修復のために活用する研究が注目されている。ミャンマーと日本との2国間の国際的な相互理解のもと行われてきた、文化財保護のための研究交流と人材育成の現状を報告し、今後さらなる2国間の友好関係の強化と、ミャンマーの文化財保護のために我々の取り組むべき課題について検討する。

日時：平成29年1月25日（水）  
13:30～16:30（受付13:10より）

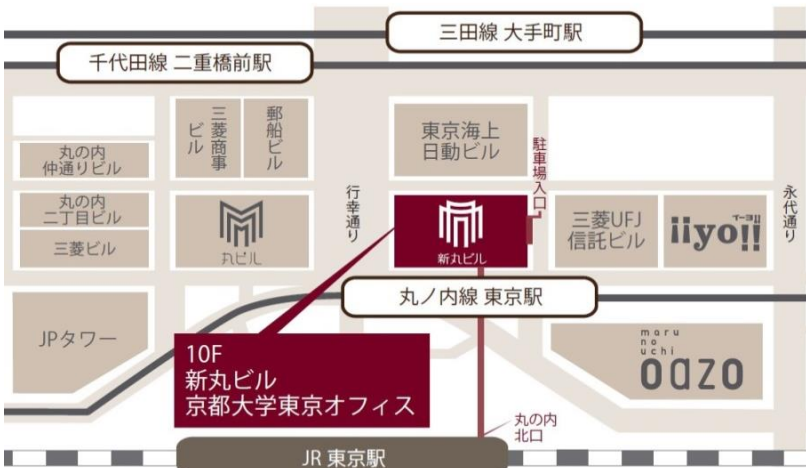
場所：京都大学東京オフィス

共催：京都大学  
京都大学図書館  
National Library of Myanmar

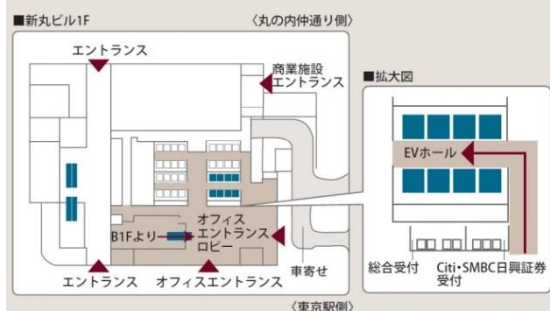
問合せ先：京都大学工学研究科井手研究室  
Tel: 075-383-3667/Fax:075-383-3666  
Email: akasaka.terumi.3c@kyoto-u.ac.jp

### 京都大学東京オフィス

〒100-6590 東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビルディング10階 Tel:03-5252-7070



東京駅直結の地下1Fからは、オフィス専用入口を通りエスカレーターかエレベーターで1Fオフィス専用のエントランスロビーへお上がりください。  
1F・Bゾーン受付右側を通り(赤の矢印)手前のエレベーターで10Fまでお上がりください。



ミャンマー連邦共和国首都ネピドーより、国立図書館Ms.KayThi Htwe館長をお招きし、ミャンマーにおける文化財保護に関する現地の最新情報と、現場での課題などをお話いただきます。また京都大学井手研究室のミャンマー文化財デジタル保存プロジェクトにご協力いただいた専門家の方々から、それぞれの分野からお話をいただきます。ミャンマー文化財の素晴らしさ、保護の意義をあらためて考える場となれば幸いです。

## プログラム

13:30-13:40 開会のご挨拶

京都大学 工学研究科長 北村隆行  
京都大学 教授 井手亜里

13:40-13:50 ご挨拶

文化庁 荻原知也

13:50-14:20 お話 i 「Preservation for Myanmar Ancient Manuscripts-How Japan can be helpful for our National project」

ミャンマー国立図書館 館長 Dr. Kay Thi Htwe

14:20-14:40 お話 ii 「博物館における文化財の保存管理について」

九州国立博物館 秋山純子

14:40-15:00 お話 iii 「碑文テキストの電子化にまつわる問題」

東京外国語大学 教授 澤田英夫

15:00-15:10 休憩(10分)

15:10-15:35 デモンストレーション「先進イメージング技術と文化財」

株式会社サビア 奥村幸司

15:35-15:50 お話 iv 「ミャンマープロジェクト～成果とこれからの課題～」

京都大学工学研究科 赤坂輝実

15:50-16:05 お話 v 「京都大学図書館機構における資料の保全と利用」

京都大学付属図書館 富岡達治

16:05-16:20 お話 vi 「デジタルアーカイブと図書館の役割」

TRC図書館総合研究所 長澤正樹

16:20-16:30 閉会のご挨拶・Group Photo